



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第19号

2018年 4 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～ ICTと地域の取組み 「2025年問題」 ～

団塊の世代が後期高齢者となり、要介護者が大量に増えると懸念される「2025年問題」が間近に迫り、日本は5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会に突入する。大量介護への対策が必要になり、予想される介護人材の不足に対し、国や自治体、企業などで様々な取組みが動き始めた。また、高齢者になるべく“医”や“介護”に頼らず、生き生きと暮らせる社会の実現に向け、地域内での各種サービスの連携や高齢者の健康に対する啓発活動が推進されている。

このような環境の中で、e-AACでは、子どもからシニアまで幅広いICTの講座を実施して、地域のリテラシーを高め、地域力を高めることに取組んでいる。

昨年、大和高田市において、「シニア・スマホ講座」を始めた。天理市においては高齢者向けに、「いきいきはつつパソコン教室」を立ち上げ、また、3年前より、シニア向けに「インターネット楽サロン」講座を開いており、ICTの利活用によって、高齢者を元気にする取組みを行っている。

また、シニア向けの講座は、パソコンやスマホの機能を学ぶと共に、地域課題の解決に向けて取組む人材育成やシニアの健康維持に貢献している。

IoT活用による第4次産業革命が始まった。業務の効率化、生産性の向上、コストダウンなどの実現に向け、本格的な取組みも動き始めた。一方、あらゆるものがつながるIoTにより、市民生活に影響が出てくるのが考えられ、サイバー攻撃の脅威は高まり、セキュリティ対策はますます重要性を増している。

この先、奈良県南部の町や村では、更に超少子高齢化が進み、一人一人の生産性を高めていくことが最重要課題になる。すなわち生産年齢人口の減少は、地域活動のボトルネックになりかねない状況にあるからである。特に、「2025年問題」は死活問題ととらえるべきであろう。そしてこれら課題に対しては、デジタル社会における人材を育成し、ICTの利活用により、地域作りを求めていく必要がある。

e-AACは、“新しいICT時代”に適応できる”QOL (Quality Of Life)”の高い“小さな地域づくり”を目指して、子どもからシニアまでICT活用能力を高め、地域を元気にする活動を継続していくことにしている。



e-AAC 理事長
谷川 義明

今月のトピックス！

『奈良市ポスターセッション』に参加

奈良市ではNPO団体の活動をPRする場として、ポスターセッションを実施しています。e-AACは毎年参加して、直近のパソコン教室や子ども「ものづくり教室」など、当クラブの活動を紹介しました。

- 期間：H30年2月17日～3月17日
- 場所：奈良市NPOインフォメーションセンター
- 展示物：当クラブのNPO活動報告



【奈良市掲示板にe-AAC活動を紹介】

『平成29年度 e-AAC 研修会』実施状況

① 子どもからシニアに至る『ICT講座』の実施

担当部会	分野	回数	参加者
第1部会	ちょっとアドバイス	42	4自治体
第2部会	授業支援	4	小学校
	クラブ活動	32	小学校
	スマホ講座	26	小中高校
	もの作り教室	24	小学生
第3部会	パソコン教室	182	市民
	市町村職員研修会	12	自治体職員
	何でも相談	240(人)	市民

② 『平成29年度公民館活動』の実施

子どもゆめ基金採択事業として子ども向け『ものづくり体験講座』を10回実施しました。活動の内容は下記のとおりです。

活動名	回数	場所
・パソコンの構造・機能を学ぶ	3	橿原市、各公民館
・プログラミング	4	奈良市、橿原市、各公民館
・子どもパソコン製作体験	3	奈良市、橿原市、柏原市、各公民館

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. 『ちょっとアドバイス』サービス

e-AAC の自治体会員を定期的に巡回訪問して、それぞれ自治体が抱えている ICT に関する課題について、『ちょっとアドバイス』を行っています。

- (1) 平成 29 年度の実績： 合計 42 回
- (2) 自治体会員：天理市、葛城市、大和高田市、橿原市
- (3) 平成 30 年度の抱負： 中小自治体への支援拡大

行政の形式主義や前例踏襲の慣習が活力をそいでいるように思われます。すなわち硬直的な行政からの脱皮が必要と思われ、そのために意識改革が必要と思われます。従って平成 30 年度の支援として意欲と能力のある個人に対して積極的に支援していきます。

2. 地域情報化支援活動 天理市

市民の ICT リテラシー向上の支援活動を実施しています。

(1) 「市民パソコン教室」実施状況：

H24 年から天理市の下記公民館にて実施しました。

- ▶ H24 年度/上期：式上公民館、 H24 年度/下期：前栽公民館
- ▶ H25 年度/下期：二階堂公民館
- ▶ H26 年度/上期：東部公民館、H26 年度/下期：樺本公民館
- ▶ H27 年度/上期：丹波市公民館、H27 年度/下期：柳本公民館
- ▶ H28 年度/上期：朝和公民館、H28 年度/下期：祝徳公民館
- ▶ H29 年度/上期・下期：樺本公民館

(2) 「シニア向け FaceBook 教室」： H25 年度、H26 年度に実施しました。

(3) 「インターネット楽サロン」： H27 年度、H28 年度、H29 年度に実施しました。

生活に密着した情報を身近に感じ・親しむことを目的として、「シニア向け FaceBook 教室」、「インターネット楽サロン」を実施しました。



【H30.2.22 インターネット楽サロン 於：天理市産業振興館】

- (4) 「パソコン中級講座」： H27 年度、H28 年度、H29 年度、自主講座として実施しました。
- (5) 「就業者向けパソコン研修会」： H27 年度、就業活動者にパソコン機能の研修講座を実施し、就職の支援を行いました。
- (6) 「高齢者いきいきはつらつパソコン教室」： H29 年度、高齢者が情報活用能力を高めていくことが重要であり、その研修の場として実施しました。
- (7) 「柳本小学校パソコンクラブ」： H22 年度～、子どもにパソコン機能・操作について研修講座を実施しています。
- (8) 「子どもサタデースクール」： H30 年度に 2 回、公民館にて小学低学年対象に“プログラミング体験学習”を実施します。

- (9) 「子どもゆめ教室」支援：公民館にて小学高学年対象に「ものづくり教室」を H29 年度に 2 回実施しました。 H30 年度には年に 5 回、実施予定です。

3. 地域情報化支援活動 明日香村プロジェクト

防災や観光に対する“Wi-Fi 環境”や“ブロードバンド環境”は極めて悪いのが実情です。明日香村は昨年、政府より過疎地域に指定されました。そこでまず過疎債による優遇助成を利用してインフラ整備を進め、その上で住民サービスのアプリの検討を進めていきます。



【H30.03.14 明日香村プロジェクト打合せ】

(1) H29 年度：公衆無線 Wi-Fi 環境整備事業支援

- ① 国の補助金(過疎債)を利用した事業の支援
- ② アクセスポイントの設置場所の調査・検証・選定
 - ・システム構成の検討、仕様書の検討・作成
 - ・事業者ヒアリング・見積の精査
 - ・総務省への申請書資料の作成支援
- ③ 平成 30 年 3 月 1 日、総務省の交付決定受領
- ④ 平成 30 年度上期の整備事業予定
 - ・4 月 整備工事の業者選定・工事着工
 - ・9 月 公衆無線 Wi-Fi 環境整備工事の完工・検証
 - ・10 月 運用開始

(2) 情報リテラシー向上の取り組み

- ・人口が減少していくなかで、ICT の利活用により、一人一人の生産性を高め、住民サービスのアプリ、業務の効率化、コストダウン等の実現に向けて支援する。
- ・住民の改革者と協働して、公民協働の仕組みが必要である。
- ・住民が隣人と心を1つにし、意欲と能力のある個人が担い手になる。

4. 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会に参加

- ▶ 実施日：平成 30 年 3 月 5 日
- ▶ 参加者：会員 27 団体、行政関係、有識者
- ▶ 場所：東京主婦会館プラザエフ



<テーマ>

- ① 草の根活動に期待すること
- ② これからの情報モラル教育
- ③ サイバーセキュリティの最新トピック
- ④ 新学習指導要領を踏まえた望まれる情報教育とは

「第2部会」からの報告(Ⅰ) 学校教育情報化支援

1. 平成 29 年度の実績

(1) 平成 29 年度「学校支援」実績

ビックデータ、AI ロボット、IOT 時代の子ども教育の在り方が問われており、「AI ロボットのしくみ」、「インターネットリテラシー」、「プログラミング」の教育に時間はない。

H29 年度	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
クラブ活動	2	5	3		2	5	4	2	4	5	32
授業支援		2	1		1						4
スマホ講座	1	4	11		1	7	1	1			26
パソコン構造		1					2	1	1	1	6
子どもパソコン						1				2	3
プログラミング		1	1	1	2	3	1		2	4	15
月 計	3	13	16	1	6	16	8	4	7	12	86
奈良市	佐保台小、西大寺北小、伏見小、										
天理市、高田市 橿原市、郡山市 御所市、磯城郡	柳本小、矢田小、王寺工業、斑鳩南小、御所中、桜井中、磯城野高										

(2) 平成 29 年度「スマホ・ケイタイ啓発」出前講座実績

■ 奈良コンソーシアム支援事業:実績: 17 回 2788 名

1	6/13	平群小	10	7/18	桜井東中
2	6/23	郡山南小	11	7/19	田原本町立北小
3	6/24	斑鳩南小	12	9/13	県立ろう学校
4	7/ 5	王寺町王寺南小	13	10/20	磯城野高校
5	7/ 6	御所市葛上中	14	10/24	平城中学
6	7/ 7	片桐西小	15	10/25	大和中央高校
7	7/ 8	片桐中	16	11/03	高田市片塩小
8	7/10	奈良文化高校	17	12/20	奈良市神功小
9	7/11	白檀南小			



■ 遊技協働組合支援事業:実績: 35 回 2,100 名

1	5/15	伏見小学校	19	10/12	矢田小学校
2	5/22	柳本小学校	20	10/16	西大寺北小学校
3	6/ 6	西大寺北小学校	21	10/16	西大寺北小学校
4	6/12	佐保台小学校	22	10/20	柳本小学校 6 年
5	6/14	伏見小学校	23	10/20	〃 ・保護者
6	6/19	西大寺北小学校	24	10/27	高田市磐園小
7	6/26	柳本小学校	25	11/ 6	佐保台小学校
8	6/28	西大寺北小学校	26	11/ 6	柳本小学校
9	7/ 3	佐保台小学校	27	11/27	西大寺北小学校
10	7/ 5	伏見小学校	28	12/ 4	佐保台小学校
11	7/10	西大寺北小学校	29	12/11	西大寺北小学校
12	7/18	西大寺北小学校	30	1/15	西大寺北小学校
13	7/29	大宮小-1	31	1/15	佐保台小学校
14	7/29	〃 -2	32	1/29	西大寺北小学校
15	9/13	伏見小学校	33	1/29	柳本小学校
16	9/22	西大寺北小学校	34	2/14	伏見小学校
17	9/25	西大寺北小学校	35	2/19	西大寺北小学校
18	10/4	伏見小学校			



「第2部会」からの報告(Ⅱ) 学校教育情報化支援

■ 草の根サイバーセキュリティ助成金:実績:
3回、311名

1	5/13	高田市 セレニティーパークジャパン
2	6/7	王寺町 王寺工業高校
3	7/20	山辺高校 山添分校

(3) H29 年度「子どもゆめ基金」事業:実績:10回

■ プログラミング:スクラッチ教室(No.1720289):4回

1	8/27	橿原市 今井地区公民館
2	9/20	奈良市 大宮小:低学年
3	9/27	奈良市 大宮小:低学年
4	10/4	奈良市 大宮小:高学年



【スクラッチプログラミング教室】

■ 子どもパソコン製作(No.1720290):3回

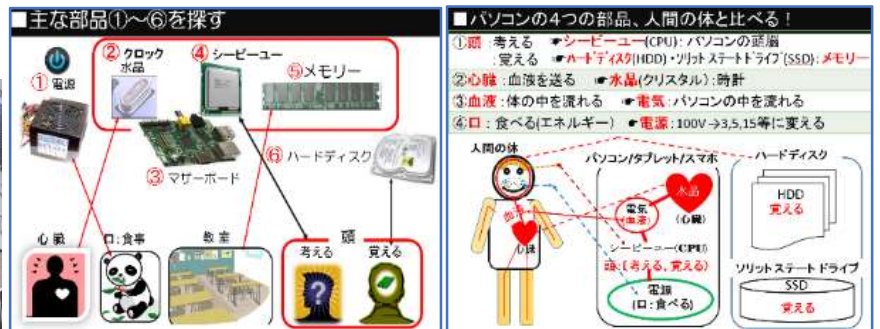
1	10/8	橿原市 白檀地区公民館
2	H30/2/4	柏原市 耳成地区公民館
3	H30/2/14	奈良市 大宮地区(大宮小)



【子どもパソコン製作教室】

■ パソコン分解・構造・機能(No.1720288):3回

1	11/19	橿原市 鴨公地区公民館
2	12/3	橿原市 多地区公民館
3	H30/1/21	橿原市 真菅地区公民館



【子どもパソコン分解・構造・機能教室】

2. 平成 30 年度の計画

■ 子どもパソコン教室:14回

プログラミング教室	9/19 9/26 10/3	三笠公民館(大宮小)	【スクラッチ】でゲームづくり: 8回
	6/3 6/10 6/17	樺本公民館(天理市)	
	(サタデースクール)11/18	式上公民館(天理市)	
	(サタデースクール)11/25	式上公民館(天理市)	
子どもパソコン製作教室	8/5	樺本公民館(天理市)	【イチゴジャム】でロボット動かす: 3回
	10/28	都跡公民館	
	H31/2/13	三笠公民館(大宮小)	
パソコン構造・機能教室	7/1	都跡公民館	パソコン・プログラミング・インターネット: 3回
	7/8	明日香村公民館	
	7/29	樺本公民館(天理市)	

■ 奈良県委託事業 : 17回

■ 遊技業協同組合支援事業 : 計 30回

- ▶ スマホ講座: 10回
- ▶ 学校支援: 20回

■ 橿原市教育委員会 : 計画中

■ 田原本生涯学習課 : 計画中

「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業では新たに天理市から「いきいきはつらつパソコン教室」、大和高田市からは「スマホ講座」を受託しました。一方自主事業では新たに明日香村パソコン教室を実施しました(以下★は本年度新規コースです)。

■ 受託 パソコン教室

1. 奈良県市町村職員パソコン研修

9月(7コース)に引き続き後半(2月)では5コースを実施しました。昨年度と比較し2コース増加しましたが、本年度は全体的に受講者数の減少がみられ、特にアクセス基礎では大幅な減少がありました。それに伴い来年度は実施コース数が減少する予定です。

2. 耳成地区公民館パソコン教室

耳成地区公民館の協力が大きく、下期も定員の20名が8回シリーズの講座に参加、皆さん熱心に受講されました。最終日には館長から全受講者に修了証書が手渡されました。午後には何でも相談を実施しました。

3. 天理市パソコン教室

本年度からWiFi環境が整備された新築の樺本公民館に場所を固定して実施することになりました。WiFiにより充実したインターネットの講習を実施することができます。本年度も定員25名の募集に対して、定員を超える応募があり抽選により受講者を選定しています。

4. NTT電友会『パソコン教室』

上期の耳成公民館に引き続き、下期はNTT大安寺ビルにてパソコン応用講座(7回コース)を実施しました。最終日には奈良支部長から全受講者に修了証書が得渡されました。午後には何でも相談を実施、皆さん熱心に受講されました。又年賀状コースを耳成地区公民館とNTT大安寺ビルで実施しました(各1日終日コース)。



5. 天理市いきいきはつらつパソコン教室★

本年度から天理市メディカルセンターでシニアの健康寿命の増進を目的として、2回/偶数月のペースで実施しました(チラシ、家計簿、年賀状)。



6. スマホ講座★

新たに6月からほぼ1回/月のペースで計11回シニア対象のスマホ講座を高田市市民交流センターで実施しました。仲間づくりや孫との対話等にスマホアプリを安全に活用して、健康寿命を延ばすことが目的です(下期はFB、ラジオ、YouTube、ネットショッピングなど)。最終日はスマホのマップを活用して会場近くを散策します。



■ e-AAC パソコン教室(自主事業)

受講者の募集が厳しい学園前教室では奈良市教育委員会の後援により、広報誌に申し込み案内を掲載した結果、受講生を集めることができました。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所(土曜日)

- 土曜パソコン教室(パソコン中級者向): 第1, 3土曜日実施(12回コース)。
- 「何でも相談」: 月曜日～金曜日

2. 学園前教室: 西部公民館

- パソコン教室(隔週木曜日午後): パソコン基礎・テーマ別講習(年賀状・インターネット・メール)
- パソコン趣味の会(1回/月、e-AAC事務所にて実施)

3. 高田教室: 中和労働会館(1,3水曜日)

- 午前: パソコン教室(パソコン初心者向け、12回コース)
- 午後: 何でも相談

4. 天理中級教室: 天理市市民会館

- 下期は12月～1月に、天理市パソコン教室の受講者を中心に中級講座(6回コース)を実施。

5. 明日香村パソコン教室★

- 本年度から初心者を対象に6回コースを上期(7-8月)に引き続き、下期(10-12月)も実施(パソコン・ワードの基礎、エクセル、デジカメ、年賀状)。WiFiを使用したインターネットを試みるも回線が繋がらず断念。

■平成30年度上期の計画

	内容	回数	実施時期	
受託事業	市町村職員研修	9コース×2日	8月～9月	
	耳成教室	8回(半日)	4月～8月	
	天理市初級教室	6回(半日)	6月～7月	
	NTT電友会	総合	6回(半日)	6月～8月
		FB	2回	6月
	いきいきはつらつ PC教室	2回/月×3カ月 計6回(半日)	4月～6月	
	スマホ講座	5回(1回/月)	5月～9月	
ソムリエの会	未定	未定		
自主事業	大宮教室	12回(半日)	3月～8月	
	学園前教室	8回(半日)	4月～7月	
	高田中級教室	12回(午後)	4月～9月	
	天理中級教室	6回(半日)	7月～8月	

「事務局」からの報告

e-AAC 平成 29 年 新年会

平成 30 年 1 月 28 日 於：奈良県文化会館

第 1 部 講演会 14:30~15:30

【テーマ】防災講演会

【講師】NPO 法人奈良県防災士会 顧問 伊藤 東洋雄 氏
南海トラフ巨大地震等による自然災害から身を守る日頃の心がけ、対策など

第 2 部 e-AAC 活動報告 15:45~17:15

第 3 部 e-AAC 懇親会 17:30~19:30



“例年好評の” 平成 29 年『e-AAC 十大ニュース』

新年会の参加者による投票の結果、次のように確定しました。

順位	☆☆ e-AAC 十大ニュース ☆☆
1 位	近畿情報通信協議会から表彰
2 位	新しいパソコン講座の開設
3 位	子どもパソコン制作（イチゴジャム）講座
4 位	奈良県市町村職員研修会の 10 年連続受託
5 位	明日香村公衆無線 LAN の整備事業の推進
6 位	子ども夢基金の 4 年連続採択
7 位	遊技業協同組合補助金の特別増額（50 万円）
8 位	14 年目に入った e-AAC 経営基盤の確立
9 位	「ものづくり体験教室」の 7 つの公民館活動
10 位	草の根サイバーセキュリティ全国大会に参加

順位	★ 参加者個人 ★
1 位	藤村 茂 さん
2 位	福井 高生 さん
3 位	祐田 善彦 さん
4 位	中野 成能 さん
5 位	奥田 恵啓 さん



寄贈ソフト

マイクロソフト社、アドビ社、シマティック社は、NPO 団体の活動を支援する目的で毎年ソフトの寄贈を行っています。
e-AAC は、Tech Soup Japan を通じて特別価格で平成 22 年度より寄贈を受けています。平成 29 年度は、20 本の寄贈を受けました。

【参考】マイクロソフト社製品の累計(Tech Soup Japan への申請履歴から)は、本数:277 本、特別価格:644,661 円、参考市場価格:15,805,465 円 です。

平成 29 年度 寄贈ソフト申込本数

メーカー	製品名称	本数
MS	Office Standard 2016	4
	Office Professional Plus 2016	9
Adobe	Acrobat XI Pro Win ESD (Japan)	3
	Photoshop Elements 15 and Premiere Elements 15	1
Symantec for Desktop	Norton Security (one year)	3

合計 20 本

☆編集後記☆

この e-AAC の会報を見ていただくと、ICT リテラシーを高めるために講座や支援活動がたゆまなく実行され、その実行回数は大変な数に積みあがっていることが分かります。私、会報の編集にあたり、表の整理、編集量は確実に増え続けているのが現状です。この度決まった国家予算によると社会保障費がますます伸び続け難課題になっています。e-AAC は、それら課題について“わかくさ抄”にて「2025 年問題」として提議しています。実行するにあたって難題はあると思いますが、会員の皆様とともに今後とも頑張っていきたいと思っています。それともう一つ、KCN さんから事務局開所記念にいただき、入口に置いていた「幸福の木」が十数年ぶりに開花しました。ご報告まで。



Masaharu SATO

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。
特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思えます。事務局までご連絡ください。

◎ 正会員・個人会員・賛助会員・自治体会員

Tel/Fax: 0742-36-8520

e-mail: e-acc@kcn.jp

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-acc@kcn.jp
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

協賛団体

